

観光地・水戸の更なる振興に向けて

2020年2月6日

福田 土屋 大槻 鈴木

<発表の目的・概要>

観光地・水戸が魅力的となり、観光客が増えること

ゴール①：観光客：450万人（2023年）
ゴール②：「また来たい」「一生の思い出に残る」

観光地・水戸

課題の考察

水戸のイメージがない
PRが少ない
交通手段・繁華街・観光ルートが不明確

解決策の考案

印象的な“魅力”の決定/PR
水戸に来たいと思うPR
観光ルートの設定/明示

現状の水戸

現状①：観光客：397万人（2017年）
現状②：イメージ・PR・受入インフラ不足

現状の分析

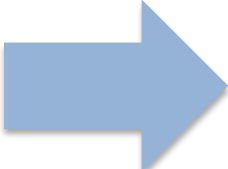
現状

観光客数：396万人（2017年度）

推移：震災以降徐々に増えているが、国内観光客は横ばい。インバウンド需要の影響を受けている。

課題

- ①何をPRすべきか不明確
- ②水戸の良い・悪いところが分からず、観光イメージがしづらい
- ③水戸の導線が不明確であり、特に繁華街への導線が不明瞭
観光地がどこにあるか？どのように移動するか？どこでご飯を食べるか？



ターゲット層を定め、明確なイメージ（目的）をもってきてもらうこと
満足度の高い観光をしてもらうこと

理想の観光地・水戸の条件

①一生の思い出になる！水戸

⇒一生の思い出に残る体験

⇒ここでしか味わえない「もの」「コト」

②また来たい！リピートしたい！と思う水戸

⇒食べ物や体験など、特徴的な要素をつくり、「また来たい」と思ってもらう仕掛け

⇒一回の旅行では回りきれないコンテンツ

基準の設定（ペルソナの設定）

<ペルソナとは？>

商品・サービスを利用する顧客の中で参考とする人物モデル。当チームでは3名設置

<ペルソナの活用方法の決定>

定量的・定性的な指標を設定するために、ペルソナを作成し、ペルソナの考え方に合わせたコンテンツを決定していく。

(ペルソナ 1) 永 朋美さん

項目	特徴
氏名	永 朋美 (えい ともみ)
年齢	27歳
配偶者	独身
年収	400万円
住居	東京暮らし
所属	会社員
趣味	歴史が好き
移動手段	ペーパードライバー 公共交通機関を主に利用
その他	東京暮らしに疲れている。水戸来訪経験有・ミルクスタンドに感動した。自然が好き。口癖は「だよね」同調傾向あり。寝る前にYOUTUBEを見る。



永朋美さんの観光ルート

時間	内容	備考
10:00	水戸駅到着	郷土かるたの配布
	移動	VRバス
10:30	偕楽園、弘道館、徳川ミュージアム	VRバスの風景と変わらない街作り（京都や金沢を参考？） 刀剣乱舞
	移動	人力車の活用（要検討）
11:30	食事	偕楽園、徳川ミュージアム近辺にレストラン施設の設置検討
13:00	徳川ミュージアム	
14:30	千波湖	好文カフェ
17:00	食事	屋形船
19:00	ホテル	ホテル内に観光情報や郷土カルタを設置
翌日		水府ちょうちん作り、剣道体験、木内酒造の酒作り、水戸の梅作り、浅川の菓子作り、田植え体験、田植えアード

永朋美さんルートのポイント

一生の思い出・リピートのポイント

- ◆点在する歴史に係る施設を確実な導線で繋ぎ、周遊しやすくする。
 - ◆移動手段に「VRバス」「人力車（仮）」を導入し、“歴史に浸る”ことができる街づくりを行う。歴史施設周辺の景観を整備し、“まるで江戸時代にタイムスリップした”ような街づくりを実現する。
- ⇒浴衣で周遊できる観光ルートの設置

課題・今後の議論の方向性

- ①「VRバス」や「人力車」など実現難度の高い移動手段について、他の事例などを研究しながら実現可能性を探っていくこと。
- ②点在する歴史関連施設をいかに繋ぐか？また魅力を高めるために行えることは？など、満足度の高い観光ルートが設立できるよう検討する。



スムーズに歴史関連施設を周遊できる導線づくりと、各歴史施設における満足度の向上がポイント

(ペルソナ 2) 赤塚 水戸さん

項目	特徴
氏名	赤塚 水戸 (あかつか みと)
年齢	20歳 (前後)
配偶者	独身
年収	アルバイト月数万円 (親の援助で生活)
住居	都内で一人暮らし (実家は練馬)
所属	大学生
趣味	オシャレ・ウインドーショッピング・スイーツ・カフェ
移動手段	車は使わない。 公共交通機関を主に利用
その他	スマホをよくチェックする。友達が多い。 (5-6人で常に行動)。インスタ映えする スポットに惹かれる。オーパのレインボー スイーツに惹かれる。ブランドが好き。と にかくオシャレが好き。



赤塚水戸さんの観光ルート

時間	内容	備考
12:00	水戸駅到着	友人3-4人
	昼食	オーパ・グラム サザコーヒー 花キャベツ（徒歩15分程度）
13:30	移動	シャトルバス
14:00	菓子工房	あさ川、亀印 菓子作り体験に参加
	陶器作り、カフェ	菓子を焼いている時間を利用して、カフェやその他の体験に参加
16:30	終了、移動	
17:00	夕食	酒趣、イ座、ぶちDining
19:00	帰宅の途（水戸駅⇒東京駅）	

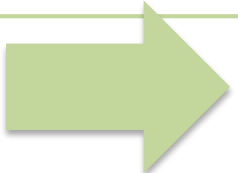
赤塚水戸さんルートのポイント

一生の思い出・リピートのポイント

- ◆水戸市内空き地（千波湖周辺）に体験作りを行う施設を設置する。
- ◆「亀印」「あさ川」など茨城の誇る菓子作り体験を目玉にする。
- ◆「笠間の陶器」「酒造り」「梅作り」「水府提灯作り」など、体験（コト消費）を多く備えた施設を作る。

課題・今後の議論の方向性

- ①食事場所：昼食・夕食における魅力的な施設の検討、宿泊施設の検討
- ②目玉となり得る“体験”の更なる検討
- ③体験できる施設の設置における実現可能性の検証（他県の好事例や費用対効果の凡の検討）



印象に残る“体験”ができる施設の設置、ターゲット層に魅力的と思われるレストラン・宿泊施設の設置の検討を進めていく。

(ペルソナ3) 山ノ草 明世

項目	特徴
氏名	山ノ草 明世 (やまのくさ あきよ)
年齢	32歳
配偶者	既婚
年収	世帯年収600万円
住居	都内在住 (湘南育ち)
所属	会社員
趣味	休日にしばしば旧友と飲み会 旅行 (伊豆、軽井沢、熱海、河口湖など)
移動手段	マイカー有、公共交通機関
その他	170cm,55kg。マイペース。少し変わった 場所やユニークなものが好き。マラソン・ 歴史・日本酒・繁華街・祭りが好き。



山ノ草明世さんの観光ルート

時間	内容	備考
11:00	水戸駅到着	郷土かるたの配布
	移動	屋形船
11:30	好文カフェ	千波湖近辺にて優雅な食事（リゾート気分）
13:00	徳川ミュージアム、偕楽園、弘道館	歴史探索
16:00	移動	バス
19:00	大工町周辺にて夕食	大工町、ヨコタなど想定 あんこう鍋、久慈しゃも、常陸牛
23:00	水戸駅近辺のホテルにて宿泊	
（翌日）6:00	大洗の朝市 見学、食事	
正午前後	帰宅	

山ノ草明世さんルートのポイント

一生の思い出・リピートのポイント

- ◆点在する歴史に係る施設を確実な導線で繋ぎ、周遊しやすくする。（桜川への「屋形船」の導入など、ユニークな移動手段を設置する。）
- ◆食事場所などについて、有名な店や酒・食事のPRを行うこと。（ここでしか飲めない、「水戸の酒」や「あんこう鍋」「久慈しゃも」などをしっかりPRする。
- ◆温泉などがあれば尚良い。

課題・今後の議論の方向性

- ①既に存在するコンテンツ（酒・食事）をいかにPRするかが鍵
- ②「大工町での満足度の高い食事」「千波湖でのリゾート気分の満喫」など具体的な観光イメージをつくり、定着・発信させることが重要



既に存在するコンテンツのPRポイントを明確化し、発信することが重要。

重要検討項目

一生の思い出・リピートのポイント

- ◆水戸駅と観光施設を結ぶVRバス
- ◆人力車（自治体予算で実現できないか？）
- ◆桜川の屋形船の設置
- ◆“体験”複合施設の設置
- ◆歴史関連施設周辺の街づくり（市民の同意要）
- ◆整備：食事施設の魅力向上、導線確保

提言

- ①「水戸の強み/推したいポイントを明確化し、観光プランと併せて設定・発信すること
- ②「一生の思い出に残り、リピートしたい水戸」の実現のために上記設備の投資を検討すること